



有言実行、そして次の100年へ

【磯村】 僕は、続けることって大事だと思って思っているんです。俳優も、映画祭も。長く続けていくことで、より大きく発展させていきたいなあ。まちづくりも同じですよ。

【市長】 そうなんです。目的を達成するためには、継続が大事ですね。沼津駅の鉄道高架事業は、これまで粘り強く継続して取り組んできました。一昨年ようやく新貨物ターミナル整備に着工して、中心市街地のまちづくりも新しいステージに進んできました。

【磯村】 これから沼津のまちが、さらに進化していくんですね。

【市長】 そうです。さらに魅力的なまちを創り上げていくためには、市民の皆さんのアイデア、企業や団体の力やノウハウが必要です。まちをともに創



夢の続きは世界へ

【市長】 磯村さんの次の夢って、何ですか。

【磯村】 市民文化センター大ホールで舞台上に立つ夢が叶ったので、次は静岡県を映画で世界から注目される場所にしていこうです。その夢の第一歩が、昨年11月4日に沼津で開催した「しずおか映画祭」だったんです。沼津市で撮影された映画を集めて上映して、沼津市出身の原田真人監督や、俳優のんさんたちがステージで映画の魅力や沼津のよさを話してくれました。

【市長】 次の夢はさらに大きく、たくさんの人と繋がっていきますね。市制100周年のイベントでも、映画祭を開催したいという思いを力強く発言さ



れていたのが印象的でした。それからたった1年で、映画祭を開催された行動力がすごくてびっくりしましたよ。

【磯村】 昔は沼津に映画館が10館以上あったそうですね。それだけ市民の皆さんは、映画に親しんでいたんだろうな。

【市長】 有言実行で、夢に向かって進む姿は、とても刺激的ですね。

【磯村】 映画祭は、自分の生まれ育った沼津でスタートし、これからも中部、西部と静岡県全体に広がっていきたいんです。ゆくゆくはカンヌ映画祭と連動できたらいいですね。

【市長】 グローバルな夢ですね！その第一弾を沼津で開催していただいて、とっても嬉しいです。



り上げていこうという自発的で意欲ある皆さんによってまちづくりの輪ができて、まちに良い流れが生まれています。もっと皆さんと共有意義な前進できるような、市の情報発信が重要だと考えているんですよ。

【磯村】 そうですね。僕も、俳優が受け身ではなく、自ら発信していくことが大事だと感じています。

【市長】 市の職員も広報力アップに取り組んでいるんですよ。広報アドバイザーを講師に招いて発信力を身につける研修を行ったり、TIKTOKを使って若い世代をターゲットに沼津の魅力を発信したりしています。TIKTOK第一弾動画では、私も若い職員と一緒に踊ってPRしましたよ(笑)。

【磯村】 市長、踊ったんですか！ノリがいいですね。

【市長】 「沼津のことを知ってもらいたい」って職員が一生懸命やっていることを後押しするのも私の役目です。「情報発信が大事だ」って言うだけでなく、自分でもSNSで積極的に情報発信するようにしているんです。

【磯村】 素敵ですね！言うからには、やる。これも大事なことです。

【市長】 明確なビジョンを立てて「有言実行」ですよ。

【磯村】 そうですよ。しずおか映画祭」は市民の皆さんの協力があって開催できました。映画祭を開催したいという僕の企画を寛容に受け止め、「一

緒にやりましょう」と言ってくださったのがとても嬉しいんです。これからも皆さんと共鳴しながら成長して、まちづくりの輪を広げていくことにもチャレンジしてみたいです。

【市長】 今年度は市制100年目で、次の100年に向けた一歩を踏み出すスタートの年です。そのタイミングで「しずおか映画祭」という新しいコンテンツが生まれて、弾みがつきました。

【磯村】 それは嬉しい言葉です。僕も沼津と一緒に、大きく羽ばたいていきたいですね。

【市長】 これからも沼津がますます元気なまちになるよう、一緒に進んでいきます。今後ともよろしくお願ひします。磯村さん、本日はありがとうございました。

【磯村】 こちらこそありがとうございました。今年も夢に向かって挑戦していきます！